

12月は人権強調月間

国際連合が、1948（昭和23年）年12月10日の総会で世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」を採択したことを記念として、12月を人権強調月間とし、特に12月4日から同月10日までを「人権週間」と定め、さまざまな啓発活動を行っています。

本校では、12月を人権教育強調月間「なかよし月間」と称し、ありがとうポストの設置や人権講話、自己肯定感を育てる授業などを実施しました。



◇人権講話 <12月4日（水）朝会>

当日は笹沼卓夫人権擁護委員と高瀬豊子人権擁護委員のお二人に來校いただき、笹沼委員から講話をいただきました。

和歌山県田辺市のみかん農家を訪問したときのエピソードから『相手を思いやり、自ら行動を起こすこと』の大切さをお話いただきました。「まずはきちんとあいさつを交わし、自分から声をかけることから始めよう。寂しい思いをする人がいないように！」

御協力に感謝

～子供たちのがんばりが光いました～

学習発表会 ～伝える相手を意識して～

自分の思いを相手にしっかり伝えることができる表現力を育てたいと、意図的に教育活動を展開して参りました。その成果を見ていただく一つの機会として学習発表会を設けました。



【2年「かさこじそう」の群読】

たくさんの保護者の皆様に参観していただき、緊張感の中でも張り切って表現活動を行うことができました。

今後とも豊かな表現力の育成に取り組んで参ります。



【4年 手話で曲を発表】

一生懸命に練習に取り組み、短い期間で完成させました。工夫を凝らし、バラエティに富んだ内容になっていたと思います。

引き渡し練習 ～緊急事態に備えて～

大きな被害をもたらす強い地震や竜巻などの発生や児童の安全を脅かす事件等の発生により、児童の安全確保ができないと判断したときにはお子さんのお迎えをお願いすることがあります。そこで、その不測の事態に備え、保護者の皆様の御協力を得て、児童の引き渡し練習を実施しました。スムーズな引き渡しができたと考え、今回の練習の反省、評価を行い、より良いものに改善していきたいと思ひます。



【矢板市として統一する地震対応】

震度5強以上	児童は学校待機とし、保護者の迎えにより下校させる。
震度5弱以下	同上 ただし、安全が確保された場合、原則、集団での下校とする。

持久走大会 ～応援が力になりました～



たくさんの保護者やその家族の方々の応援を受け、自己記録を目指し、歯を食いしばって最後まで走りきることができました。

24,695円を募金 ～心をかたちに～

愛の一元募金と赤い羽根共同募金運動の浄財を各事務局へ送金させていただきました。

お茶うがいの励行 ～意識を高める～

インフルエンザ予防の一つとして実施しています。流行阻止に御協力をお願いします。